

科目番号	教室	登録人数	履修登録方法
学共209	[月4]共3-304	25	抽選対象
開講年度	期間	曜日時限	開講学部等
2025	後学期	月4	国際地域創造学部国際地域創造学科
講義コード	科目名[英文名]	単位数	
g00030022	異文化理解 02組	2	
担当教員[ローマ字表記]			
山里 絹子			

## 授業の形態

講義、演習又は実験

## アクティブラーニング

学生が議論する、学生が自身の考えを発表する、学生が文献や資料を調べる

## 授業内容と方法

教室変更 3-301教室

この授業では、異文化理解を「他者」との出会いとその理解の試みととらえ、文化的背景の異なる人々が交差する「異文化接触」の現場に注目します。移民、奴隷制度、植民地主義、グローバリゼーションなどの文脈におけるアメリカ社会の事例を中心に、文学作品、映像、オーラルヒストリーを通して文化の摩擦、葛藤、交渉、そして相互理解・相互影響のプロセスを考察します。また、「他者」の語られ方と当事者の語り返し／語り戻しに焦点を当て、人種、ジェンダー、セクシャリティ、社会的階級、国籍、障害などをめぐる社会的境界や権力関係を批判的に読み解きます。学生自身の経験と重ねながら、グローバル社会における「他者」理解の視点を養うことを目指します。

## URGCC学習教育目標

自律性、社会性、地域・国際性、コミュニケーション・スキル、情報リテラシー、問題解決力、専門性

## 達成目標

1. 自らの立場や経験を言語化し、他者と対話しながら学ぶ姿勢を養う「自律性」「コミュニケーション・スキル」
2. アメリカ社会の事例を通して、文化的多様性をグローバルな視野で捉え、身近な地域社会における異文化理解と結びつけて考える力を培う「地域・国際性」
3. 文学・映像・オーラルヒストリーなどを分析し、異文化接触を多角的に読み解く方法を学ぶ「情報リテラシー」「専門性」
4. ディスカッションやプレゼンを通して、英語を含めた表現力を高める「コミュニケーション・スキル」

## 評価基準と評価方法

1. 授業への貢献・ディスカッション 20%
2. ショートレスポンス（毎回）30%
3. グループプレゼンテーション 20%
4. 期末レポート 30%

## 履修条件

特になし。

## 授業計画

第1回 オリエンテーション／異文化理解とは何か：授業の目的と進め方

第2回 「他者」とは？

第3回 異文化接触：理論と歴史的背景

- 第4回 コンタクト・ゾーンの概念
- 第5回 表象とステレオタイプ
- 第6回 アメリカ社会における人種主義
- 第7回 ジェンダー・セクシュアリティ
- 第8回 ディサビリティ・階級・言語
- 第9回 オーラルヒストリーにみる当事者の語り
- 第10回 ゲストスピーカー 異文化体験の共有（Zoom予定）
- 第11回 グループワーク①：異文化接触の事例調査と分析準備
- 第12回 グループワーク②：プレゼン資料の作成・リハーサル
- 第13回 グループプレゼンテーション①
- 第14回 グループプレゼンテーション②
- 第15回 まとめとふりかえり／最終レポートに向けたガイダンス

## ■ ■ 事前学習

課題のリーディングを読み、ショートレスポンスを作成する。

## ■ ■ 事後学習

授業やクラスディスカッションを振り返り、課題のリーディングの理解を深める。また、最終課題に計画的に取り組む

## ■ ■ 教科書にかかわる情報

## ■ ■ 教科書全体備考

教科書はありません。毎回、リーディングを配布します。

## ■ ■ 参考書にかかわる情報

## ■ ■ 参考書全体備考

## ■ ■ 使用言語

日本語

## ■ ■ メッセージ

## ■ ■ オフィスアワー

メールでアポイントメントを取ってください。件名に授業名と氏名を書いてください。

## ■ ■ メールアドレス

この項目は教務情報システムにログイン後、表示されます。

## ■ ■ URL